7月 しいのみ・たんぽぽ・みず クラスだより

円町まぶね隣保園　2025.7.31

7月半ば頃からセミの鳴き声も大きくなり、いよいよ夏本番！日差しもジリジリと肌で感じる毎日。熱中症には十分気を付けながら、屋外や室内で、夏ならではのあそびを存分に楽しんで過ごしたいと思います。
しっかり栄養と睡眠をとり、体力を蓄え、暑い夏を乗り越えましょう☆彡

しいの実

7月4日は全クラスで集まって七夕の集いがありました。しいの実組はクラスカラーのオレンジ色の短冊と足型スタンプを"てなす"を作りました。短冊に高月歳児は絵を描きました。紙が小さく難しかったのですがくり返し描画をしていることで紙に意識して描こうとする姿がありました。また毎月のお誕生会行事で3階に行く機会もあり、全クラスで集まる雰囲気にも慣れてきました。まだ行事の内容を知るというよりは保育者や周りの友だちの反応を楽しんで参加しています。全てのことが初めてのしいの実組の子どもたち。たくさんの「はじめて」を経験しながら毎日を楽しく過ごしていきたいです。

プールあそび

7月からプールあそびが始まりました。6月から暑い日は水あそびをして少しずつ水に慣れてきました。タライに水をためると自分から意欲的にちゃぷちゃぷと触っていた子どもたちですが、初めてのにぎやかなプールの雰囲気に最初はドキドキした様子で涙したり、立ったまま動かずにいる子どももいました。回数を重ねる度に保育者の「プールいくよー」の声掛けを聞いて期待の気持ちを持って自分たちでエレベーターホールに向かいます。プールの中でも、座って水の心地良さを感じて玩具であそんだりワニ泳ぎのように身体全体を使ってあそぶ子どももいます。8月もそれぞれの月齢に合わせて、ゆったりと安全にプールを楽しんで夏の暑さを乗りきっていきたいと思います。

一人ひとりのペースで…

0歳児は「人生で最も成長が著しい時期」だと言われています。身体や運動機能の発達、発言、情緒面の成長など日々感動や喜びの毎日です。中には成長のペースや身体の発達に悩まされることもあるかと思いますが月齢や性格などによって個人差があります。

歩き始めがゆっくりだと、その分ハイハイがたくさんできて体幹をしっかり鍛えることができます。好奇心旺盛だと身体をたくさん動かして十分な食事や睡眠をとることができます。

しいの実組の子どもたちは生まれてまだ数ヶ月～1年ほどしか経っていません。一人ひとりの今しかない姿を受け止め、時には新しいことをやってみようとする姿を見守り、たくさん関わって、お家の方とも一緒に成長を喜んでいきたいです。

可愛いエピソード

お昼寝前に体温を測るのですが、保育者が体温計を見せて「お熱ピッピするよ」と声を掛けると、トコトコとみんなが保育者の元へ。おでこに体温計を向けると"ニャッ"と笑ったり目をぎゅっとつむったり。中にはうれしそうに追いかけてほしくて逃げていく子どももいます。それぞれの可愛い姿に毎日癒されています。

たんぽぽぐみ

本格的に夏が始まり、とても暑い日が続いています。外で過ごすことが難しい時期でもありますが、プールがある日は水に触れながら気持ちよく過ごしています。

先月のおたよりの中で、プールにも慣れていけるかなと書いていましたが、思った以上に早く慣れて、とても楽しんでいます。水がかかっても嫌がることはあっても泣かず、プールの中で這う動きや、顔を水に自分から近づけたり、友だち同士で水をかけあったりしています。プールに入ったら疲れるのか、その後のお昼寝でもぐっすり寝ています。プールあそびと共に様々な感触あそびもしました。7月には氷・泡あそびをしました。特に氷あそびでは、"つめたっ"と言いながら顔につけてみたり、友だちにつけたり、カップに入れて渡してくれたり、つるつる滑って取れないことを表情で伝えてる姿もあり、とても楽しんでいました。感触あそびは氷、泡、泥、寒天、片栗粉など他にもまだありますが、色々な感触を見て、触って楽しめるあそびです。中には触るのをためらってしまう子どももいますが、興味津々です。感触あそびの良さは素材に触れることで五感を刺激し、手先を使うため、器用さや集中力、好奇心などを広げることが出来ます。あそびながら、"みてみて""すごい""もっとやりたい"と子どもたちからもどんどん色々なあそび方が出てくるのが面白いなと思っています。来月もプールあそびや感触あそびを楽しみ、熱中症にも充分に気をつけて過ごしていきたいと思います。

〈子どもたちの様子〉

日常の中でも、子どもたちは少しずつ友だちに興味を持ち、一緒にあそぶことも増えてきました。言葉でうまく伝えられないこともありますが、「かして」とか「いっしょ（同じおもちゃ）など様々なことを吸収しています。夕方のあそびで隣のしいの実ぐみ（0歳児クラス）と関わることも増え、自分より小さい友だちだと分かっているのか「あかちゃん！」と言って、よしよしをしている姿もあります。力加減がまだ難しいこともあり、撫でているつもりでも、力が強くなってしまうこともありますが、子どもたちの気持ちに寄り添いながら見守っていきたいと思います。

みずぐみ

待ちに待ったプールあそびが始まり、毎日「プール？」と楽しみにしている子どもたち。あまりにも楽しみすぎて、それまであそびに夢中でトイレに行かなかった子どもたちも急いでトイレに行き、準備を始める程です。ヌ、"プールに入るからパンツをはく""パンツをはいてからプールに入る"ということが分かると、「パンツ…、パンツ…」と自分のパンツをお探しています。それをきっかけにトイレへと意識が向き、「でたよー！」と毎回報告をしたり、「でない」「まだ」と言って、出るまで座ろうとしたりしています。パンツで一日を過ごしているお友だちもいるので、それが子どもたちの中で、互いに良い刺激となり、トイレで排泄する喜びを感じているところです。

プールあそびを終えて部屋に戻ってくるのは11:00前。給食まで30分程あるのですが、子どもたちは着替えるとすぐに着席し、給食待ちをしています。「ご飯まだだよ」とプールの日は毎回伝えていますが、それでも全員着席したことがあり、その日は20分以上手あそびをしてみんなで盛り上がり、クラス一体となって楽しみました。子どもたちが大盛り上がりしたのは「だいじょうぶ？ズコッ」という手あそびです。おうちでも一緒にやってみて下さい♪

うさぎさんが　転んだ～　どうしたの？大丈夫？　みんなできいてみよう♪　せーの！「だいじょうぶ？」　「大丈夫でーす♪」　大丈夫なのかしら？　ズコッ

～かわいい甚か違いエピソード～

毎日、しいの実ぐみの先生やたんぽぽぐみの先生が給食を運んでくれています。それを見て「ありがとう」と言っていました。持ってきてくれたからありがとうを伝えているのだと思っていたのですが、ある日、担任が運んでくると、「つくってくれてありがとう」と言っていました。「作ってくれているのは給食室の先生」と改めて伝え、園庭からの帰りに「作ってくれてるね」と給食室をのぞきました。扉に貼ってある食材にも興味津々の子どもたちなので、登降園時に一緒に見てみて下さい。野菜の名前も覚えてきているので、簡単なクイズやあそびを通して、ことばの獲得へとつなげていけるような関わりや、やりとりを大切にしていきましょう